

適用範囲		型式		JASC35-2	
		質量 kg		275	
		取付可能機体質量 (単位 t)		3~5	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値	
装置	シリンダー (図1-12参照)	開閉シリンダー			
		伸縮量	mm	20	
		測定時間	分	3	
圧砕・切断部	カッター (図1-13参照)	カッターの隙間			
		基準値	mm	1.0	
		許容限度	mm	2	
	(図1-14.15参照)	圧砕ポイントA	圧砕ポイントA		
			基準値	mm	80
		許容限度	mm	65	
		圧砕ポイントB	圧砕ポイントB		
			基準値	mm	111
		許容限度	mm	96	
		圧砕ポイントC	圧砕ポイントC		
			基準値	mm	66
		許容限度	mm	53	
		圧砕ポイントD	圧砕ポイントD		
			基準寸法	mm	81
		許容限度	mm	65	
		圧砕ポイントE	圧砕ポイントE		
			基準寸法	mm	-
		許容限度	mm	-	
		圧砕ポイントF	圧砕ポイントF		
			基準寸法	mm	-
許容限度		mm	-		
圧砕ポイントG		圧砕ポイントG			
		基準寸法	mm	80	
許容限度		mm	65		

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定

- ①測定具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、アームを全開状態（シリンダー収縮）で行う。
- ②ショベルのエンジンを停止してからホース内の残圧を抜き、aのストップバルブを閉じる。
- ③L部の寸法測定を行い、3分間経過後に再度L部の寸法測定し、その差を伸縮量とする。

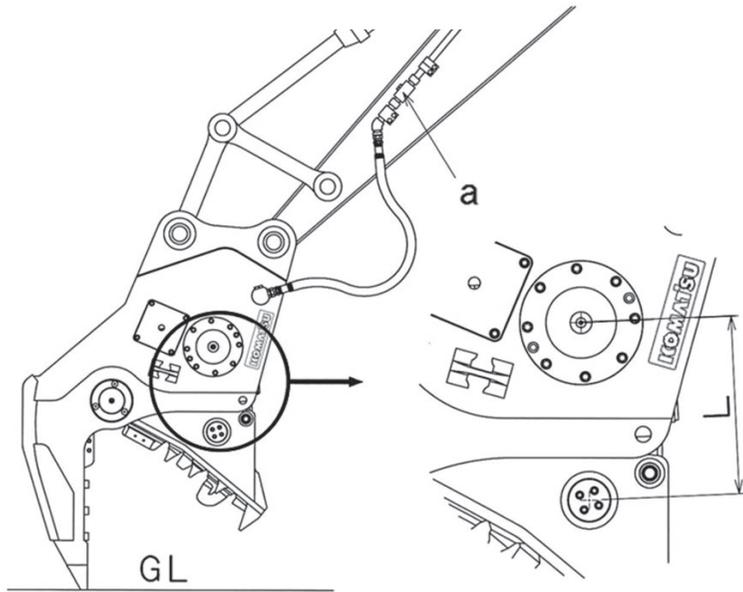


図 1-12 開閉シリンダーの伸縮量測定

2. カッターのすき間測定

- ①本体を地面から浮かせた状態で水平に保持し、アーム全開状態（シリンダー伸長）で測定する。
- ②すきまゲージによりB寸法を測定する。

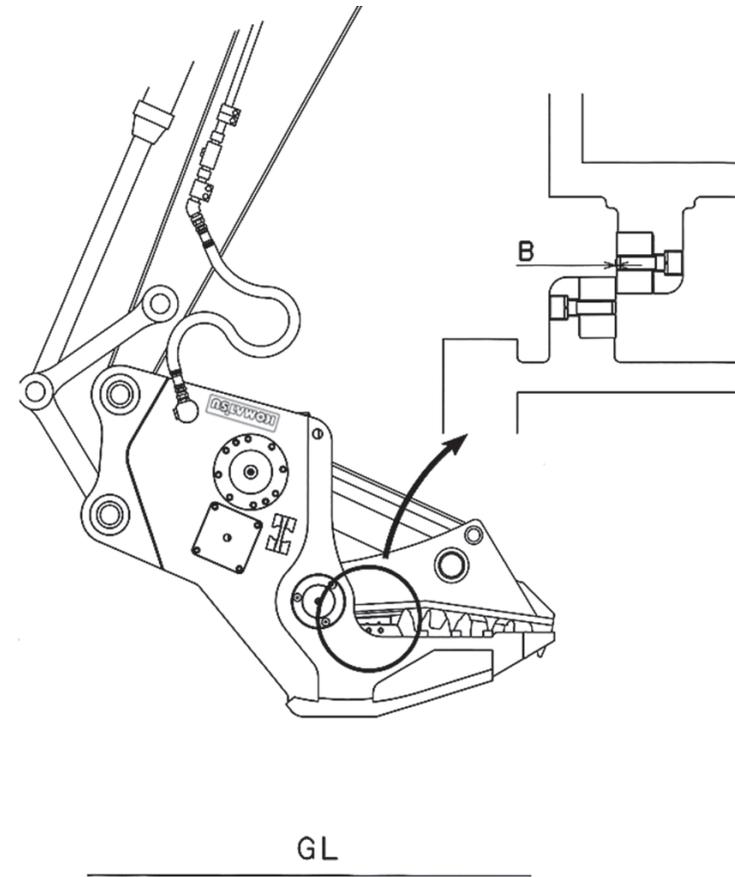


図 1-13 カッターのすき間測定

3. 圧砕ポイントのすき間測定

- ①アーム全開状態（シリンダー収縮）で検査を行う。
- ②各圧砕ポイントA～Gを計測する。

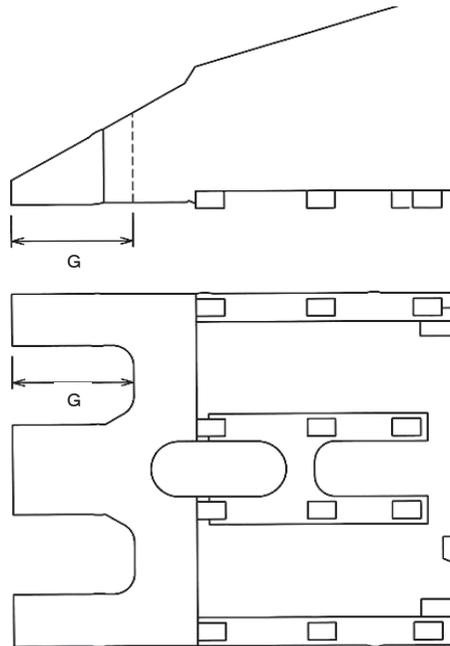


図 1-14 圧砕ポイントの測定

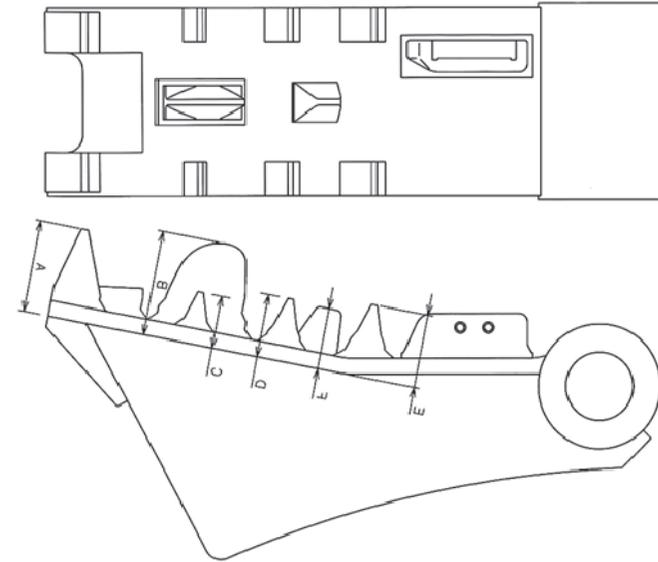


図 1-15 圧砕ポイントの測定